

東日本大震災被災地の初等・中等教育を支援
本学教員が出張講義(理科実験)を実施

日程：9月3日(月)～7日(金) 場所：宮城県石巻市立湊第二小学校ほか

関西大学では、本学教員による東日本大震災被災地における小学校への出張講義(理科実験)を、下記のとおり実施します。

この取組みは、昨年9月に本学と石巻市教育委員会が連携・協力して、被災地の小学校への理科教育支援として出張講義を実施したことを受け、今年度も石巻市教育委員会からの要請を受けて引き続き実施するものです。

本学では、これまでも大学周辺の小学校へ出張講義を実施しています。本年度春学期には大阪府内小学校へ出張講義を実施し、また、夏期学休期には同事業、理工系学部、大学コンソーシアム大阪などの主催で、多くの理科実験の体験行事が行われました。

このたびの出張講義は、東日本大震災復興協力の一助として、被災地での初等・中等教育の支援、近年問題となっている理科離れの抑制、学習意欲の維持のみならず、被災地の方々や将来を担う小学生を元気づける機会になるものと期待しています。

記

- 1 日 程 9月3日(月)～7日(金)
- 2 場 所 宮城県石巻市立湊第二小学校、鹿妻小学校、釜小学校
- 3 講 師 システム理工学部 倉田 純一 准教授
上記以外の日程で、化学生命工学部 准教授・河原 秀久、講師・山出 和弘、特別任用助教・坂元 仁による出張講義も予定しています)
- 4 対 象 小学生

以上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 小野、依藤

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax. 06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

東日本大震災被災地における小中学校への出張講義実施概要

1. 背景

本年度春学期に大阪府内小学校への出張講義を実施し、また、夏期学休期には同事業、理工系学部、大学コンソーシアム大阪などの主催で、多くの理科実験の体験行事が行われました。特に、大阪府高槻市内での小学校の出張講義では、本格的な装置を持ち込んでの講義実施が教諭・児童・生徒の関心を高め、受講態度は非常に熱心で、実施希望学校数も年々増加しています。

このように、種々の理科教育支援事業が実施される地域がある一方で、被災地、特に沿岸地域の学校では多くの施設が被災しており、公立小中学校での正規授業では理科実験の機会が全くないのではないかと懸念されていました。

このような中、昨年9月に、東日本大震災被災地における理科教育支援として同市内5小学校への出張講義を石巻市教育委員会と連携・協力して実施しました。今年度についても、石巻市教育委員会から理科教育支援実施の要請を受け、昨年度に引き続き出張講義を実施することとなりました。

2. 目的

- ・小学校での出張講義を実施し、被災地での初等・中等教育を支援すること
- ・特に、設備の整備の目処が付かない理科実験環境を憂慮し、理科に関する授業内容として理科離れを抑制すること

3. 期待される効果

- ・被災地の日常的な理科授業が行えない状況で、実験を通して理科の楽しさを体験することによって、教科としての理科の意義を児童・生徒に理解させることができる
- ・続く高等教育の重要性を気付かせ、学習困難な地域であっても生徒の学習意欲を維持させることができる

4. スケジュール・実施場所

	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時
9月3日(月)						
4日(火)						
5日(水)		湊第二小4年			湊第二小6年	
6日(木)		鹿妻小6年				
7日(金)		釜小6年				

5. 内容(以下の中から、状況に合わせて選択的に実施)

【小学校カリキュラムと連動した出張講義として】

顕微鏡による観察、筋肉の働きと腕の動きの理解、ヒトの消化の実験

【小学校カリキュラムと連動しない理科教室として】

簡単顕微鏡の作成、分光器の作成と観察、酵母の利用実験

6. 実施者: システム理工学部 准教授 倉田 純一

上記以外の日程で、学生命工学部 准教授・河原 秀久、講師・山出 和弘、特別任用助教・坂元 仁による出張講義を実施予定)

以上